

授業科目名・形態	エイジング論	講義	必修・選択の別	選択※	単位数	2
科目担当者氏名	檜原 登志子・工藤 智美		実務経験の有無	有	開講期	1年後期

※看護学科必修

### 【授業の主題】

発達の観点から老化を理解する。老化に伴う身体的機能や心理的機能の変化についての基礎的な知識を習得する。また、サクセスフルエイジングの他に、老化に伴う心と身体の変化と日常生活への影響についても理解する。これらには、人間の成長と発達、老年期の定義、老年期の発達課題、老化に伴う心身の変化の特徴、老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響、高齢者の心理、老化に伴う心身の変化と日常生活への対応（援助）、高齢者に見られる精神障害とそれに対する対応（援助）などが含まれる。

### 【到達目標】

1. 高齢化、高齢者について身体的、心理的、社会的エイジングのプロセス（過程）を正しく理解できる。
2. 超高齢化社会のライフスタイル、家族形態、老いの意味の変化を理解できる。
3. エイジングによる日常生活への影響を理解し、リスクマネジメントを理解できる。
4. 高齢者のイメージを正しくし、正確な高齢者像を理解できる。

### 【授業計画・内容】

第1回	人間の成長と発達の基礎知識	( 檜原 )	ペーパー演習
第2回	人間の発達段階と発達課題ー発達理論	( 檜原 )	
第3回	老年期の特徴と発達課題ー老年期の定義	( 檜原 )	
第4回	老年期の特徴と発達課題ー老年期を巡る今日的課題	( 工藤 )	
第5回	老化に伴う心と身体の変化と生活ー心理的な変化	( 工藤 )	
第6回	老化に伴う心と身体の変化と生活ー社会的な変化	( 工藤 )	
第7回	高齢者と健康ー健康長寿に向けての健康	( 工藤 )	
第8回	高齢者と健康ー精神疾患	( 工藤 )	
第9回	保険医療職との連携ー多職種との連携	( 工藤 )	体験演習
第10回	認知症サポーター養成講座ーゲストスピーカー	( 檜原 )	
第11回	人間の発達段階と発達課題ー社会的機能の発達	( 檜原 )	
第12回	高齢者の症状・訴えとその留意点	( 檜原 )	体験演習
第13回	高齢者と健康ー高齢者に多い病気とその留意点	( 檜原 )	
第14回	高齢者と健康ー高齢者に多い疾患・症状と生活上留意点	( 檜原 )	
第15回	高齢者と健康ー アンケート	( 檜原 )	ペーパー演習

### 【授業実施方法】

基本は講義形式。必要に応じ（高齢者の立場に立って生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材）等を視聴して、状況を洞察し思考する。演習も行う。

### 【授業準備】

ニュースや新聞などで報道される、社会の高齢者の問題に関心を向け日々研鑽してください。毎回ごとにより「事前学習」と「事後学習」の課題を提供し、提出を求めます。

### 【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（精神科）」「保健・医療と法律」「日常生活支援技術」

### 【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会 最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規出版、2019

### 【参考文献】

必要に応じて紹介する。

### 【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題学習レポート提出 10%、授業態度 5%の総合評価とする。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院の看護師実務から、ケアを受ける人すべてに生命の安全を第一に、尊厳を持ち接し、安心と安楽な生活を支援できるケア者となるための学習支援をいたします。

### 【学生へのメッセージ】

高齢者を正しく理解することが学習の第一歩です。高齢者を取り巻く社会の状況にも関心を寄せて下さい。